

いしだたみ

No.148

2005年7月

「ながさきおはなしフェスティバル in させぼ」開催 ～ 延べ1,500人の参加者で会場は盛況～



小学生による「紙芝居」の実演



ボランティアによる「エプロンシアター」の実演



松居 直先生の講演



図書館職員による「ブックトーク」の実演

去る4月23日（土）に佐世保市の「アルカスSASEBO」で「ながさきおはなしフェスティバル in させぼ」を開催しました。

このフェスティバルは、「子ども読書の日」を記念して、「読書を通して子どもたちの健やかな成長を願うとともに読書活動の推進を図る」との目的で平成15年度から始まり、今回は県北地区で初めての開催となりました。

児童文学家の松居直先生を講師に招き、「絵本は生きる力」をテーマとして講演をいただきました。先生は、「人と人をつなぐ生きたことば、自己を表現するための大切なことばを大事にしていきたい」と参加者に語りかけられました。

また、小・中・高・大学生やボランティア等による「絵本の読み聞かせ」や県内図書館職員による「ブックトーク」等も開催され、親も子も本と共に楽しい一日を過ごしました。

来年は、島原地区に会場を移して、島原文化会館などで開催する予定です。皆さんの御参加をお待ちしております。

もくじ

◎ながさきおはなしフェスティバル in させぼ	P 1
◎館長「新任あいさつ」	P 2
◎ますます充実！「調べ学習」への支援	P 3
◎『長崎奉行所 分類雑載』・郷土課企画展	P 4
◎子どもの読書活動文部科学大臣表彰・文化講演会	P 5
◎県立長崎図書館講座の御案内・お知らせ・行事案内	P 6



いのちのオアシス

館長 中嶋 将晴



緑陰幽草 花時に勝れり（王 安石）

草木が萌黄色から深い緑へと日一日と色を変えていくのを見て、「4月の花より美しい」と感じた人も多かった。ここ諏訪の森一帯もすっかり夏の装いに入り、歴史古る大樹の陰が恋しい季節を迎える。

県立長崎図書館は、明治45年、長崎市新橋町（現在市中央保育所所在地）に開館し、その後、大正4年、長崎奉行所跡地にあった交親館（元県会議院兼迎賓館）に移り、昭和35年現在の新館に建て替えられた。

初代館長を務められた永山時英氏は、およそ20年にわたる在任中、特に郷土の貴重資料の収集に努められ、顕著な功績を残されている。この時収集された古文書等は、長崎奉行所を世に知らしめた「犯科帳」等、今日の郷土課の「長崎学」資料の原点でもある。

本館にはこれまで、各宮殿下の御来館をはじめ、知名士の来訪は絶えず、それらの事情は所蔵の芳名録が物語っている。

今年は、丁度創立93年目に当たる。この4月には、「長崎県美術館」がオープンし、いま隣接する旧長崎奉行所跡地には、往事を偲ぶ復元事業としての「長崎歴史文化博物館」の建設が進んでおり、11月の開館が待たれる。

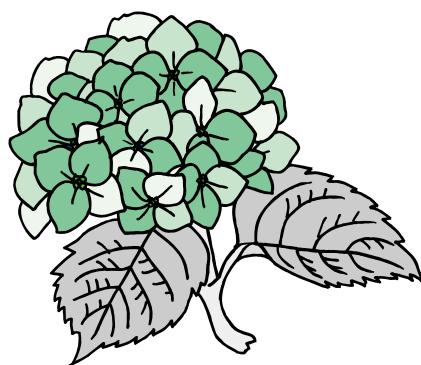
現在、県立長崎図書館には、1日平均1,000人の来館者があり、県都における「知の宝庫」として、また「知のオアシス」として県民の期待を担っている。

来館者の中に、この4年間に3,800冊（一日平均約2.6冊）、購入額にすれば1,300万円を超える図書の借入、返却をされたというTさんは、「若い頃、本に渴望しており、いま至福の時間を頂くことへの感謝と新たな発見・感動が日々の活力になっています」と、語っておられる。

「公共図書館とは本来、本の貸し出しが目的ではなく、このことはあくまでも図書館が持っている機能を果たすための手段に過ぎず、唯一の目的は、市民に対する知識と情報の提供にある。そこから市民による知識・情報の共有化が始まり、豊かな社会、国家の形成につながる」と強調されているのは、いま全国で注目を浴びている千葉県浦安市立中央図書館の前館長であられた常世田良さんの言葉である。

本県においても、いま、学校における「朝の10分間読書」等が進められている。一見ささやかな行動であるが、精神の持続という理念に基づくいのちの活動である。そのいのちの活動は、知の単純な量的拡張ではなく、精神の複雑な質的变化・変容となり、「いのちのオアシス」となるだろう。そして、そこから生まれる生命力こそ、真の「生きる力」であり、精神の枯渇を防ぐことになると思う。

館長室の窓から見える長崎の山々を眺めながら、歴史が育んだ長崎の文化の継承と、これからの生きる力となる「いのちのオアシス」として図書館の存在を考えるこの頃である。





ますます充実！ 「調べ学習」への支援



今回は、「調べ学習」で本館を訪問してくれた小・中学生から送られてきた感想文・レポートの一部を紹介します。

長崎市立西坂小学校 2 年生

長崎けんりつとしょかんは、さいしょは本がすこし少ないと思っていたけど、本がいっぱいありました。めいじ・たいしょう・しょうわの本が、そうこ（書庫）にいっぱいあってびっくりしました。70 まんさつぐらい本があって、すごいと思いました。

ぼくが、すきな電車の本もありました。「かいけつゾロリ」の本は大人気だから、あまりないかなと思いました。

きんこみに、ハンドルでまわして本をだすものもありました。ぼくは、はじめてきたのでドキドキしました。（書庫の）かいだんが、きゅうだったの得上るときはらくだったけど、下りるときはこわごわして、おりました。

大村や五島の人に（本を）たっきゅうびんでおくことを、はじめてしりました。

また、くるかもしれません。がんばってください。 ※ 説明のため（ ）に言葉（3ヶ所）を補いました。



長崎市立小江原中学校 1 年生

先日は、お忙しい中、僕達のためにペーロンの本を用意していただきありがとうございました。県立図書館で本を見て調べることができたので、今まで知らなかったことを理解することができました。内容がいっぱいあって大変でしたが、本にシオリをはさんでいただいたおかげでよくわかり、まとめることができました。総合学習の発表に役立てたいと思います。どうもありがとうございました。

東京都の中学 3 年生

論文の方が評価され帰ってきたので、約束通り送らせていただきました。少しばかり遅くなりましたが、評価の結果も間に合ったので一緒に付けておきます。この論文が完成したのも、本馬さんの協力があったることだと思っています。あそこまで親切に対応してくれたことは本当に感謝しています。どうも有難うございました。また長崎に行くことがあったら、もう一度図書館の方へ寄るつもりなので、その際は是非直に会ってお礼を。



武蔵工業大学附属中学校社会科卒業論文「船乗ひらうと～小笠原諸島探検記～」は、島谷市左衛門が、小笠原諸島を発見した経緯・同諸島の歴史について、400字詰原稿用紙77枚にワープロでまとめられています。島谷市左衛門は、長崎代官末次平蔵政直の船頭で、この中学生の祖先に当たるということで調べたそうです。

本館では、県内の図書館・公民館図書館等にアンケートをお願いし（平成14年度）、それを基に「学校・公共図書館運営ガイド～公共図書館等における調べ学習や職場体験学習の充実を目指して～」という冊子を作成（平成16年4月）しました。この中で、①実施主体である学校の動き ②受け入れる図書館等の対応例 ③双方をリードする立場にある教育委員会への提言をまとめています。

是非、御活用ください。

『長崎奉行所 分類雑載』を編集・発行しました

長崎地役人の年行司^{ねんぎょうし}によって文政期頃（1820年頃・江戸時代後期）作成された長崎奉行所の業務マニュアルである「分類雑載」（全4冊・本館蔵）を翻刻（活字化）したものです。

内 容： 新任長崎奉行到着の手続き、諸藩藩主の長崎到着や諸役人相続の手続き、唐船や阿蘭陀船の入港から出港までの様子や諏訪神社祭礼（くんち）についてなど、具体的な事項が詳細に記されています。



本書は非売品ですが、県内の公共図書館・大学および都道府県立図書館等に送付しておりますので、どうぞ御活用ください。

郷土課企画展の御案内

11月3日の長崎歴史文化博物館開館によって、これまで本館が持っていた郷土資料に関する役割を長崎図書館、長崎歴史文化博物館の両館で分けて受け持つことになりました。そこで今回の展示では、両館の所蔵資料がどのようなものか、実際の資料を展示することで示しています。以下は、展示している資料の主な内容です。

これからも長崎図書館で 保存・活用していく資料

長崎県の文学に関する資料
長崎県の統計資料
市町村の行政資料
長崎県の行政刊行物
長崎県の自然・気象
災害に関する記録
長崎で発行された新聞
教育関係資料 など

長崎歴史文化博物館で 保存・活用していく資料

長崎奉行所記録類
中国・オランダ関係資料
明治期の長崎県行政資料
キリシタン・神社・
寺院関係資料
絵図・古地図資料
各種文庫資料
郷土史関係書籍 など

※ 長崎の歴史に関する資料で、現在本館において複数所蔵している資料については、おおむね長崎図書館・長崎歴史文化博物館の両館ともに所蔵する予定です。

〔期日〕 平成17年8月14日（日）まで（現在開催中です）
〔場所〕 本館4階 郷土課展示室
〔時間〕 9時30分～17時（休館日を除く）

○ このような資料はこれからも図書館で利用できます。



○ 子どもの読書活動で文部科学大臣表彰を受賞 ○

平成 17 年度子ども読書活動優秀実践図書館・団体として、文部科学大臣表彰を受賞された『口之津町立図書館友の会』を御紹介します。

「地域の子どもたちへの愛情表現」

—口之津町立図書館友の会の取り組み—

口之津町立図書館友の会がスタートして、10 年が過ぎようとしています。

先輩方の地道な活動と地元保護者の協力を得て、この数年、朝の読み聞かせが各小学校で（町内 3 小学校ありましたが、平成 17 年度 1 校に統合）それぞれ行われました。

子どもたちが少しでも、絵本を通して、心豊かで夢の持てる子どもに育ってほしいという願いで続けてきました。なお、新しい小学校でも、すでに保護者の方を中心にしてスタートしました。

図書館でのお話し会は、月 3 回（第 1 火曜日口加高校家政科生、第 2 火曜日図書館職員、第 3 火曜日友の会）行っています。

また、年 2 回（6 月のてんとう虫、12 月のクリスマス）のお話し会は、会員が知恵を出し合い、工夫を凝らしたお話し会で、多くの子どもたちの参加があり、友の会行事の一大イベントです。

町内と近隣の小学校・幼稚園（9 箇所）への出張お話し会は、全校向けなので選択が難しいですが、こんなに楽しく、こんなこともできる



んだということを表現したくて、子どもたちが、「あっ！」と思うようなものを作りたいと思い、皆で楽しみながら製作しています。

友の会会員には、私のように子育てを卒業した者もありますが、多くが子育て真っ最中です。だから、製作や練習時は、子どもたちが這ったり走り回ったりしているのを、横目で見ながらやっています。転勤族の方もいますが、口之津を好きになって次の地へ飛び立ってほしいですね。

この活動を通じて、絵本の楽しさ、我が子への読み聞かせの大切さを理解していただき、愛情表現の一つとして、我が子だけでなく、地域の子どもたちへも、読み聞かせを継続していきたいと思います。

（代表 濱田 信子）

○ 長崎県読書グループ連絡協議会・文化講演会 ○

キリシタン禁制と大村藩



去る 6 月 6 日（月）、県立長崎図書館講堂において県読書グループ連絡協議会の文化講演会が実施されました。

大村市教育委員会学芸員 今村明氏を講師に招き、「キリシタン禁制と大村藩」という演題で、藩の存続のため、布教から禁教へと歩んだ大村藩の特異な宗教政策の歴史を史実に基づき、現存する史跡の紹介を含めた興味深い講演でした。

100 名を超える参加者となり、大盛会のうちに終了しました。

参加者からは、「わかりやすい話で大変よく理解できました。」といった好評をいただきました。

県立長崎図書館講座へ出掛けてみませんか

知っていますが、「ながさき」 もっと知りたい、「ながさき」 愛するふるさと、「ながさき」

県立長崎図書館では、「図書館活動の活性化の一環として、広く県民に生涯学習の機会を提供する」ことをねらいとして、下記のとおり年3回の「県立長崎図書館講座」を開催いたします。

ぜひお気軽に、御参加ください。

	期 日	テ ー マ ・ 演 題	講 師
第1回	7月16日 (土)	カエルに魅せられて ～長崎県の野生動物の現状と展望～	松尾公則氏 (県立長崎北高等学校教諭)
第2回	10月2日 (日)	長崎の文学を語る (仮題)	田中正明氏 (長崎女子短期大学学長) 田中俊廣氏 (活水女子大学教授) 馬場昭徳氏 (長崎歌人会常任理事)
第3回	12月10日 (土)	歴史研究の楽しさとその方法 (仮題)	大石一久氏 (県教育庁学芸文化課指導主事) 岩崎義則氏 (県立長崎シーボルト大学助教授) 本馬貞夫氏 (県立長崎図書館副館長)

会 場 県立長崎図書館講堂 (長崎市立山1丁目1-51)

時 間 午後1時30分～3時30分

申 込 不要 (直接会場へお越しください)

臨時閉室のお知らせ

1 場 所 郷土資料研究室・展示室 (本館4階)

2 期 間 平成17年8月15日(月)～11月30日(水)

※ 11月3日に開館する『長崎歴史文化博物館』へ図書館所蔵郷土資料の一部を移管するため上記の期間閉室いたします。

利用者の皆様へ御迷惑をおかけいたしますが、御理解・御協力くださいますようお願いいたします。

平成17年度行事案内 (7月～12月)

- 7月 第1回県立長崎図書館講座 (16日 本館)
- 9月 県立長崎図書館協議会 (12日 長崎市)
- 10月 第2回県立長崎図書館講座 (2日 本館)
県図書館活動推進大会 (17日 西有家町)
- 11月 県読書グループ連絡協議会史跡見学 (4日 大村市)
- 12月 第3回県立長崎図書館講座 (10日 本館)
こども大会 (17日 本館)



☆ 休館のお知らせ ☆

県立長崎図書館は、9月5日(月)～9月16日(金)まで、蔵書点検等のため休館いたします。期間中はコンピューターも点検作業のため、図書検索や問い合わせ等は停止させていただきます。また、ホームページ (蔵書検索) もデータ整備のため停止いたします。

利用者の皆様には期間中御迷惑をおかけいたしますが、御理解と御協力をお願いいたします。

編集・発行 長崎県立長崎図書館 長崎市立山1丁目1番51号/印刷 (有)正文社印刷所 長崎市魚の町6-6
I S S N 1344-5235 ホームページアドレス <http://www.lib.pref.nagasaki.jp>



この広報紙は、環境に配慮した再生紙を使用しています。